

## 金日成主席にたいする追憶は永遠であろう

ロシア極東連邦総合大学副教授

マルチェヴァ

衝撃と挑戦で波瀾に富んだ 20 世紀は、自国と自民族の繁栄のために最大の努力を傾注した才能豊かで意志の強いエネルギッシュな人物を少なからず輩出しました。その偉人の中には、20 世紀の傑出した政治活動家である朝鮮民主主義人民共和国の金日成主席もいます。金日成主席の一生は、世界的な指導者の立派な生涯の一つであります。

貧しい農家で誕生してチュチェ思想を創始し、日本帝国主義者の占領時期には朝鮮人民革命軍司令官として、そしてアメリカ帝国主義に反対する朝鮮戦争の時期には朝鮮人民軍最高司令官として名を轟かせ、戦後には朝鮮民主主義人民共和国の主席として世界を変革するうえで非凡な政治活動家として活躍しました。

わたしは、朝鮮民主主義人民共和国を 10 回以上訪問しました。今も首都の中心部から遠くないところに位置している金日成主席が生まれた美しい万景台の生家が目に浮かびます。

万景峰の麓には広い公園があり、コノテガシワの木が育っており、青い松の木が万景峰に林立し、泉ではいつも清らかな水がこんこんと湧き出ています。ここには去る世紀初頭の農民たちの生活をそのまま示す糸車、押し切り、蕎麦うち機、味噌甕などの品物が展示されています。柴垣を通り過ぎて小さな庭に入ると、粘土をこねてつくった藁葺きの家があり、粟やモロコシ、そして農機具を保管する倉庫があります。

万景台は、金日成主席が幼年時代を送った故郷です。

金日成主席は、国の独立のために戦うことを生の目的とした愛国者の中で成長しました。

金日成主席は 1919 年 3 月 1 日、幼い年に独立宣言を発表する集会に参加するために家族とともに平壤に向かったと回顧しました。独立宣言を発表するためにソウルと他の道、市に 200 万名の朝鮮人が集まりました。これは民族的団結を示す実例でした。集会は、ストライキとデモへと拡散しました。

金日成主席は、17 歳にマルクス主義地下グループで積極的に活動し、その後は遊撃戦をおこないました。

ワレリ・ヤンコプスキは家族とともに 1920-1940 年代に朝鮮に移住して暮らしましたが、ある日、日本の憲兵たちが警察署で狩猟許可証を出しながら一枚の

写真を取り出して、山中でこういう姿のパルチザンを見たことがないかと尋ねたそうです。彼らは情報を教えれば高額な報酬をやると約束しました。それは金日成主席の写真でした。鋭い視線とたくましい顎、固く閉じた唇は断固として意志の強い人物、血気旺盛な虎を思わせました。ワレリ・ヤンコプスキは、自分たちは白頭山で猛獣狩りをする者であると答えたそうです。

変幻自在の勇敢な、祖国解放偉業に忠実な金日成主席は、朝鮮のパルチザン運動の伝説的な人物となりました。

朝鮮革命博物館には、抗日革命闘士金正淑女史とともに撮った金日成主席の写真が展示されています。

1936年に遊撃隊に入隊した金正淑女史は、常に金日成主席を「将軍さま」と呼び、金日成主席に忠誠を尽くすことを自分の生の目的としました。

金日成主席を補佐する金正淑女史の犠牲精神は、真心からあふれ出たものでした。金正淑女史は、無線通信講義でも、落下傘訓練でも、上陸作戦準備活動でも、先頭に立ちました。

時間の流れとともに非凡な女性、情熱的で犠牲的な愛情を有した女性としての姿を示しました。

日本関東軍の敗北とともに第2次世界大戦が終結し、朝鮮は独立しました。

ワレリ・ヤンコプスキは1945年10月14日、平壤の牡丹峰の麓の前の競技場で開かれた朝鮮解放慶祝集会を目撃しました。彼は、金日成主席が集会の参加者の前に出ると歓呼の叫び声が沸きあがり、人々は喜びと感激の涙を流したとし、その日、朝鮮は自己の民族的領袖を迎えたと回想しました。

当時、金日成主席は33歳でした。

沿海辺境の歴史記録には、朝鮮民主主義人民共和国の金日成主席と絆を結んだ極東の人々の話が少なからず残されています。

その中には、金日成主席と接見した有名な旅行家であるパーベル・コニュホブもおり、ソ連太平洋艦隊の船員もいました。太平洋艦隊船員の素朴な贈り物は、今日も世界の多くの国から金日成主席と金正日総書記へ贈られた他の贈り物とともに、妙香山の国際親善展覧館にそのまま展示されています。

わたしはある日、白頭山に登りました。日が昇ったばかりの早朝、わたしは白頭山に登って金日成主席と金正日総書記の姿を心に描きました。

国家活動家である金日成主席の生涯は、わたしの追憶の中に宿るようになりました。

一つ付け加えて言うならば、金日成主席にたいする追憶、金日成主席の業績にたいする追憶は永遠であろうということです。